

コストダウンの観点から、老朽化した構造物を安全に操業することが重要となっています
構造物の材料の損傷機構はほとんど解明されており、本講座ではその知見をレクチャーします

プラント機器・設備の損傷機構と 事例および寿命予測・防止対策

保全技術者
必須の講座です

講師：株式会社ベストマテリア 社長 工学博士 木原重光 氏

元 (株)IHI基盤技術研究所長。現在、早大理工学術院非常勤講師、日本高圧力技術協会圧力容器材料分科会主査、日本規格協会圧力容器技術委員会委員などを務める。金属学会、鉄鋼協会、腐食防食協会に所属。

- 日程：7月6日(金) 10:00~17:00 (講義：6時間/休憩：60分)
- 会場：オームビル 地下1階 ゼミルーム (東京都千代田区神田錦町 3-5-1)
- 受講料：1名 29,400 [28,000+1,400 (税)] 円 (税込)

～プログラム～

- I. 壊れないように製造したものがどうして壊れるのか
 1. 設計、製造における破損因子
経年的破損の原因となりうる構造設計、材料選定、調達、加工組立（鋳造、鍛造、溶接など）における問題
 2. 経年損傷機構
疲労、腐食、クリープ、摩耗、エロージョン、材質劣化の発生機構
 3. 経年損傷スクリーニング方法
疲労、腐食、クリープ、摩耗、エロージョン、材質劣化の発生必須条件
- II. 重大損傷事例から学ぶ
 1. コメット機墜落（疲労）
 2. 御巢鷹山のジャンボ機墜落（疲労）
 3. 米ぬか油脱臭缶における PCB 混入事故（腐食）（カネミ油症）
 4. その他
- III. 損傷を如何に防ぐか
 1. 寿命予測
疲労、腐食、クリープの寿命診断方法
 2. 防止対策
材料選定、検査、モニタリング方法など

<習得知識>

1. プラント機器・設備に懸念される損傷の機構（疲労、腐食、クリープ、摩耗、エロージョン、材質劣化）
2. 重大損傷事例からの教訓
3. 損傷に対する寿命予測、防止対策

<講義概要>

成熟社会となりつつある我が国では、膨大な社会・産業資産としての構造物（設備、機器）の老朽化が進んでいる。安全・安心および国際競争の激化の中で、すべての製造業において必須であるコストダウンの観点から、老朽化した構造物を安全に操業するために、保全関係技術者の重要性が高まっている。構造物の主構成材料である金属材料では、長い歴史の中で構造物の破損原因となる材料の損傷機構はほとんど解明され、寿命予測技術も進歩してきた。

本講義は、保全関係技術者に、蓄積された経験と研究成果への理解を深め、構造物の安全な維持に必要な各種手法を習得してもらうことを目的としている。

＜お申込み要項＞

申込欄 ⇒ FAX:042-313-7682

講習会申込:『プラント機器・設備の損傷機構と事例および寿命予測・防止対策』

会社名		所在地	〒		
氏名	所属部署名	TEL	FAX	E-mail	

会場地図

	<p>地図① オームビル ゼミルーム(地下1階) 正則学園高校隣り、焦げ茶色のビル 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町 3-1-5 TEL:03-3233-0680</p> <p>【アクセス】</p> <p>●地図① 東西線【竹橋駅】下車徒歩8分 3b出口利用</p> <p>●地図② 都営三田線・新宿線、半蔵門線 【神保町駅】下車徒歩10分 A9出口利用</p>
--	--

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX 042-313-7682	本用紙の申込欄に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail entry@tech-d.jp	【社名】、【所属部署名】、【受講者氏名】、【所在地】、【電話番号】、【FAX番号】、【E-mailアドレス】をご記入の上、送信ください
C	HP http://www.tech-d.jp/	【申込フォーム】をクリックし、必要事項をご記入ください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）を致します

③ 受講票・請求書をお送り致します

＜注意＞

① お申込後1週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の7日前以内のキャンセルは、お受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願い致します

お支払について

＜期日＞

① 受講料は、講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※ 経理の都合上、期日までに間に合わない場合は、対応致しますのでご一報ください

＜方法＞

① 銀行振込にて、下記の口座へお振込みください。なお、振込手数料は御社にてご負担願います

※ 講習会当日に現金でのお支払も承りますが、領収書等の準備がありますので、事前のご連絡をお願い致します

振込先銀行	支店	口座番号	名義
三井住友銀行	多摩センター支店(909)	(普) 0973522	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン(http://www.tech-d.jp/)		
	住所	〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 1-3-10-607		
	電話	042-313-7680	FAX	042-313-7682
	E-mail	entry@tech-d.jp (申込) / info@tech-d.jp (問合せ)		